

小中一貫教育基本方針

ふるさとを愛し、
自らの夢に挑む
自立した子どもの育成

小中一貫教育を通して子どもを育む かとうの教育

加東市では、すべての中学校区において小中一貫教育を行っています。中学校区ごとに、9年間を貫いた教育目標を定め、小学校と中学校が、つながりを意識した切れ目のない教育活動を行い、子どもたちの発達段階と一人ひとりの特性に応じた学びを大切にしています。



第4期 加東市教育振興基本計画

基本理念

人間力の育成
～豊かな学びが 新しい自分と地域を育むまち 加東～

基本方針Ⅰ

夢に挑み自立する子どもを育む教育の推進
～学びのつながりを大切にした小中一貫教育の充実～

9年間を通して
知・徳・体を
バランスよく
育てます

めざす子ども像

知

自ら学ぶ子
自分を活かす子

徳

個性豊かな子
自他を大切にする子

体

たくましい子
ねばり強い子

3地域の小中一貫教育目標

社地域

向上心
～共に学び、夢に挑む
自立した子どもの育成～

滝野地域

ともに学び、たくましく、
夢に挑む子どもの育成

東条地域

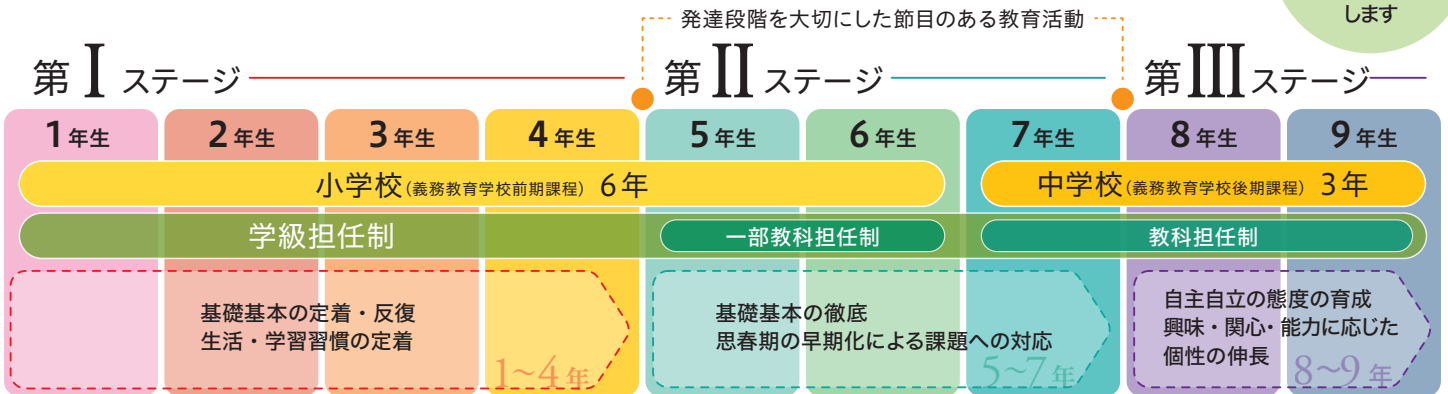
ふるさとを愛し
心豊かにたくましく
ともに育つ学園生の育成



加東市マスコット
「加東伝の助」

発達段階に応じて、
ステージごとに
目指す姿を明確に
します

義務教育9年間を4年ー3年ー2年の3つのステージへ



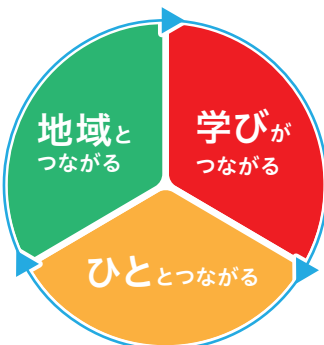
3つの「つながる」

3つの「つながる」をキーワードに

コミュニティ・スクール(地域とともにある学校)
「学校運営協議会」を置き、学校運営に地域の声を積極的に活かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていきます。

ふるさと学習「かとう学」
地域の教育資源(ひと・もの・こと)を活用し、郷土への愛着を深め、よりよい社会づくりに向けて、主体的に行動する態度を育成します。

異学年交流
人と関わる機会を増やし、自己有用感や責任感を育み、上級生への憧れと下級生への思いやりの心の醸成を図ります。



9年間を通したカリキュラム
指導方針や各発達段階で育てたい力を共有し、9年間の系統性・連続性のある取組により、確かな学力の定着、向上をめざします。また、英語教育やICT教育の充実などを図ります。

学習指導の充実
小学校での教科担任制や小中学校間での乗り入れ授業等、専門性を活かした魅力ある授業の展開、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ります。

切れ目のない一貫した支援
9年間を通して子どもを見守り育てる生徒指導体制により、問題行動の未然防止と早期対応を図ります。また、特別な支援を必要とする児童生徒について、全教職員が共通理解を図ります。